

商業振興委員会報告書

日時	令和4年2月18日(金) 11時00分	
場所	中小企業センター ホール	
出席者	委員	本間 英夫 委員長・小林 義昭 委員 伊藤 直之 委員・打越 雄介 委員・宮武 利裕 委員
	役員	阿部 和則 会頭・名畑 正樹 副会頭・小松 孝好 監事 宮崎 俊朗 専務理事
	事務局	柳沢 利宏 次長・山本補助員・片山会計係
内容	<p>1) 令和4年度事業方針について まず、事務局より令和3年度事業方針に基づき事業内容を説明。</p> <p><u>①農商工連携による地場特産品を活用した商品開発の推進</u> 別紙資料に基づき事務局より説明。 酒粕パウダーを使用した商品開発の経緯と進捗状況を報告、12月に行った3事業者（モリデアイ・広華・ホテルニセコアルペン）の試食会の状況やその中でホテルニセコアルペンが商品化に向けて進展していること。また、酒粕パウダーの継続して供給していくために大型乾燥機等設備投資が必要であり、商工会議所・(有)二世古酒造で小規模事業者持続化補助金に申請する旨報告。</p> <p><u>②プレミアム商品券事業並びに大売出し事業等への消費拡大活性化支援</u> 7月と11月にプレミアム商品券事業、年末大売出し事業にそれぞれ50万円助成していることを報告。また、プレミアム商品券について、使い道の6割が、リフト券購入と燃料関連であることを報告した。年末大売出しは参加事業者、売上が年々減少傾向にあることを報告。</p> <p><u>③倶知安町特産品等の情報発信並びに販路開拓支援</u> 別紙資料に基づき事務局より説明。 今年度3つの事業（にぎわい市場さっぽろ2021・くっちゃん土産カタログ作成・北海道どさんこプラザ有楽町店MS催事）について、それぞれ概要、実施効果について報告。</p> <p>挙げられた意見は下記の通りである。 ・ 倶知安土産カタログに関し、作成して終わりではなく、作成した後にどのように活用するかが重要。例えば、倶知安町のふるさと納税は人気がある為返礼品に出品する等活用方法を検討すべきである。 ・ 事業説明は事後報告が多いため、今後委員会で更に意見聴取、検討した方が良いのでは。 ・ 酒粕パウダーを使用した商品開発について、設備投資に協力してニセコアルペンに卸すだけにとどまらず、他の事業者に広めるような検討が必要。</p> <p>協議の結果、令和4年度の事業方針は下記の通り継続することとした。 <u>①農商工連携による地場特産品を活用した商品開発の推進</u> <u>②プレミアム商品券事業並びに大売出し事業等への消費拡大活性化支援</u> <u>③倶知安町特産品等の情報発信並びに販路開拓支援</u></p> <p>2) その他 別紙資料に基づき事務局より説明 佐川急便より台湾への越境ECサイト支援サービスの情報提供があることを報告、会員へ周知することとした。</p>	
	<p>・ くっちゃん土産カタログは3月以降に参加事業者への効果測定を行い、委員会に報告、今後の対応について協議することとした。</p>	

商業振興委員会報告書

日 時	令和3年10月15日(金) 11時00分	
場 所	中小企業センター 研修室	
出席者	委 員	本間 英夫 委員長・川端 克彦 委員・財前 真郷 委員 伊藤 直之 委員・打越 雄介 委員・宮武 利裕 委員
	役 員	阿部 和則 会頭・小松 孝好 監事・宮崎 俊朗 専務理事
	事務局	柳沢 利宏 次長・山本補助員・片山会計係
状 況	活動及び研究事項について検討	
内 容	<p>1) 伴走型小規模事業者支援推進事業について ○くっちゃん土産カタログの作成、どさんこプラザ催事への出展の進捗状況と今後のスケジュールについて別紙資料に基づき、事務局より説明。 どさんこプラザ催事への出展について募集2枠のところ2事業者の応募があった事を報告。また、くっちゃん土産カタログは募集28枠のところ28事業者の応募があった事を報告。それぞれ承諾された。</p> <p>2) 農商工連携による地場特産品を活用した商品開発の推進について ○酒粕パウダー活用方法の事前調査アンケート結果について別紙資料に基づき、事務局より説明。 ・酒粕パウダーで試作・商品開発希望6事業者に対し、倶知安農業高校より酒粕パウダーを配布予定。試作品の結果は、今後委員会で情報共有する事とした。</p> <p>3) 倶知安町への意見・要望について 挙げられた意見・要望については下記の通り ・町内事業者の事業拡大・展開について、土地高騰で難題となっている。町有地や空き地活用に於ける検討を進めて頂きたい。 ・倶知安駅前通りの電柱の地中化について道から調査のお知らせが届いたが、町として協議会等を設置するなどして道と連携して検討する体制を整えて頂きたい。 ・従業員のメンタルケアやカウンセリングを行なえる窓口がない。被雇用者のメンタルサポートが行なえる相談窓口の設置を検討して頂きたい。 ・現在倶知安駅前通りのバス路線を乗入れているが、狭い。バス路線変更を検討して頂きたい。 ・事業者の一部がゴミを出さない事業取組を行なっている。町として、全体で事業取組を行なえる環境を検討して頂きたい。</p> <p>4) その他 ・事務局より「地元のお店応援クーポン」の利用状況について説明。 また、「にぎわい市場さっぽろ2021」の参加者について「(株)カー「HAKKO GINNGER」の2事業者が出展する旨報告。</p>	
その他	<p>本委員会で挙げられた意見・要望は11月24日の倶知安町との地域経済振興に係わる意見交換会において要望予定である。商品開発や販路開拓事業については事業を進め、適宜報告を行なう。</p>	

商業振興委員会報告書

日 時	令和3年9月13日(月) 11時00分	
場 所	中小企業センター ホール	
出席者	委 員	本間 英夫 委員長・川端 克彦 委員・小林 義昭 委員 伊藤 直之 委員・打越 雄介 委員・青山 徹也 委員
	役 員	阿部 和則 会頭・名畑 正樹 副会頭・小松 孝好 監事・宮崎 俊朗 専務理事
	事務局	柳沢 利宏 次長・山本補助員・片山会計係
状 況	今後の活動及び研究事項について検討	
内 容	<p>1) 伴走型小規模事業者支援推進事業について ○(仮称)倶知安カタログの作成、どさんこプラザ催事への出展の 公募内容等について</p> <p>資料を基に事務局より説明。意見等は下記の通りである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業ではないかもしれないが、ルピシアや八海山等名だたる知名度の企業がきている。応援できるような態勢をとるべき。 ・応募事業者が多数の場合、抽選となっているが公開抽選にした方が透明性を持たせることができる。 ・(仮称)倶知安カタログの発行は年末に合わせるのであれば、遅くとも12月初旬には発行した方が良い。 ・(仮称)倶知安カタログは30事業者集まらない場合はどうするのか? 目星はついているのか? →30事業者を下回った場合、掲載できる商品数を増やす事やページ数を減らす事も検討している。また、数社には声を掛けている。 <p>2) 農商工連携による地場特産品を活用した商品開発の推進について ○酒粕パウダー活用方法の事前調査アンケートについて</p> <p>資料を基に事務局より説明。意見等は下記の通りである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「酒粕パウダー」というネーミングが悪いイメージになりかねない。 <p>3) その他 ○にぎわい市場札幌2021について</p> <p>資料を基に事務局より説明。意見等は下記の通りである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この事業応募締切は9月30日であるが、(仮称)倶知安カタログの応募者に声を掛けられるようにした方が良い。 	
その他	<p>本委員会で挙げられた意見を基に各事業を進めていく。 伴走型小規模事業者支援推進事業は9月15日目途に案内を発送する。</p>	

商業振興委員会報告書

日 時	令和3年8月5日(木) 15時00分	
場 所	中小企業センター ホール	
出席者	委 員	本間 英夫 委員長・川端 克彦 委員・打越 雄介 委員・宮武 利裕 委員
	役 員	名畑 正樹 副会頭・小松 孝好 監事・宮崎 俊朗 専務理事
	事務局	山本補助員・片山会計係
状 況	今後の活動及び研究事項について検討	
内 容	<p>1. 倶知安町特産品の情報発信並びに販路開拓支援について ①(仮称)倶知安カタログについて ②どさんこプラザ催事の出展について 事務局より今年度の申請を上記の2事業で申請した事と内容について報告、了承された。</p> <p>2. 地場産品を活用した商品開発調査研究について 倶知安農業高等学校 教諭 前田 義江 氏を招き、農業高校で「酒粕」を活用した商品について話を伺った。 酒粕には豊富な栄養素、香りがあるが長期保存が難しいものだった。そこで、乾燥させた「酒粕パウダー」を作り分析したところ、長期保存が可能になっただけでなく、栄養価も高まった結果が出た為、昨年度はクッキーやマドレーヌ等の洋菓子を宮武菓子店と協同で商品開発し、商品化した。今年度は「酒粕パウダー」には美容効果も含まれているところに着目し、美容製品の開発を目指している。 課題は大量生産ができない設備体制。倶知安農業高等学校では小さな乾燥設備を利用しており、週に生産できる酒粕パウダーは300g程度(酒粕600g)。昨年度、倶知安農業高等学校では酒粕180kg、またニセコ酒造では多いときで5tも廃棄されている。酒粕パウダーを量産する為には乾燥設備の導入が不可欠となる。</p>	
その他	<p>次回の商業振興委員会は伴走型小規模事業者支援推進事業の採択結果後に開催する。商品開発では、酒粕パウダーを乾燥させる為に必要な設備投資に必要な金額や補助金等事務局で調査し、今後の協議事項することとした。また、倶知安農業高等学校と協力し、酒粕パウダーを少量ずつ会員事業者提供し、使い道や調理方法等のアンケートを取り酒粕パウダーの可能性について検証することとなった。</p>	

商業振興委員会 報告書

日時	令和3年6月4日(金) 11時00分	
場所	中小企業センター ホール	
出席者	委員	本間 英夫 委員長、小林 義昭 委員、伊藤 直之 委員 宮武 利裕 委員、青山 徹也 委員
	役員	名畑 正樹 副会頭、本田 哲 副会頭、小松 孝好 監事、宮崎専務理事
	事務局	柳沢次長、山本補助員、片山会計係
概要	今年度の研究事項について検討	
内容	<p>【各委員の近況報告と情報共有】</p> <p>建設業は行政の公共工事が堅調な動きをみせており、コロナの悪影響は受けていない。燃料関係は建設業の活発な動きに乘じ、工事関係や建設関係の燃料売上増及び大雪で除雪業が好調であった為、インバウンド利益の減少分をある程度補填する事ができた。一方、卸売・小売業は例年並に届いておらず、厳しい状況は続いている。助成金に助けられている状況である。</p> <p>【協議事項】</p> <p>①農商工連携による地場特産品を活用した商品開発の推進</p> <p>昨年度まで協議していたジャガイモペーストの下にイタドリジャムを敷き詰めタルト菓子「じゃがタルト」の商品化に向けた協議検討を行なった。</p> <p>生産課題として下記の点が挙げられた。</p> <ul style="list-style-type: none">・イタドリジャムに必要なイタドリの若芽収穫の難しさ(収穫時期:5月の数日)・生産に必要な設備投資・製造工程を委託すると金額が高額 <p>その他の意見としてはイタドリジャムは期間限定商品として、通常商品はコケモモジャムやブルーベリージャムで商品化する意見が挙げられた。</p> <p>今後は課題や意見を基に検討する他、酒粕を活用した商品開発についても検討することとした。</p> <p>【報告事項】</p> <p>①プレミアム商品券事業並びに大売出し事業等への消費拡大活性化支援</p> <p>事務局より「プレミアム商品券」及び「地元のお店応援クーポン」について進捗状況の報告を行なった。</p>	

	<p>②倶知安町特産品等の情報発信並びに販路開拓支援</p> <p>事務局より経営発達支援計画に絡めた形の事業推進報告を行なった。情報発信ではカタログの作成とHPでの事業者の商品情報発信、販路開拓支援ではアンテナショップ「どさんこプラザ」への催事出展する内容の報告を事務局より行なった。</p> <p>【その他】</p> <p>ホテルようていの閉館について、情報共有を行なった。閉館の理由は耐震性の問題とコロナによる売上減と考えられる。自社で立て直しは考えておらず、売却に進んでいく可能性が高い。今後、会議所として(株)倶知安機工様へは接触していきたいと考えている。</p>
<p>その他</p>	<p>商品開発については倶知安農業高等学校の関係者を招き、話を伺いながら検討を進める事とした。また、販路開拓支援についても進捗状況を報告していく事とした。</p>